



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年7月29日

上場会社名 アルビス株式会社

上場取引所 東

コード番号 7475 URL <https://www.albis.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 和男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 石田 康洋

TEL 0766-56-7200

四半期報告書提出予定日 2022年8月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	23,280	3.6	616	4.2	757	4.0	512	6.1
2022年3月期第1四半期	22,461		644	20.1	788	16.7	482	9.9

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 554百万円 (46.9%) 2022年3月期第1四半期 377百万円 (28.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	58.53	
2022年3月期第1四半期	55.14	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	47,789	29,698	62.1	3,394.72
2022年3月期	48,463	29,450	60.8	3,366.39

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 29,698百万円 2022年3月期 29,450百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		35.00		35.00	70.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		35.00		35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	47,103	3.3	1,029	20.3	1,287	17.3	894	12.2	102.27
通期	94,779	2.9	2,585	5.4	3,100	1.8	2,159	2.6	246.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	9,255,926 株	2022年3月期	9,255,926 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	507,559 株	2022年3月期	507,559 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	8,748,367 株	2022年3月期1Q	8,748,367 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の対策を継続し、社会経済活動が正常化に向かう中、各種政策の効果もあり、持ち直しの動きが見られました。一方、新型コロナウイルス変異株の感染再拡大、ウクライナ情勢の長期化や中国における経済活動の抑制の影響が懸念される中、原材料価格の高騰や急激な円安の進行等、依然として不透明な状況が続いております。

食品小売業界におきましては、消費者マインドの低下による節約志向が継続する一方、業種業態を超えた競争激化や人件費上昇、原材料費や電気料金等の高騰により厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社グループはスーパーマーケットとして食のライフラインを守るという使命を果たすため、引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止策を徹底しながら、お客様のニーズに細やかに対応する店舗の営業継続に取り組んでまいりました。

昨年度よりスタートしております「第三次中期経営計画」（第55期～第57期）は、「地域一番のお客様満足の実現」を中期経営方針に掲げ、「お客様の多様なニーズへの対応」「従業員が挑戦できる環境の実現」「業務基盤の活用による生産性の向上」「事業を通じた地域社会の課題解決」を重点課題とし、以下の施策に取り組んでおります。

「お客様の多様なニーズへの対応」として、ニーズの高い主力商品の販売を強化するための価格政策、旬の生鮮品や名物商品の訴求に取り組むとともに、健康志向商品、簡便即食商品の拡充を図っております。また、高利益商品であるPB商品などの販売を拡大し、売上総利益率を改善させました。前期より開始した来店受取型ネットスーパーについては、5月より「大島店」（富山県射水市）、「高原町店」（富山県富山市）を新たに加え3店舗で展開、店舗地域の特性も考慮し、更なる利便性向上を進めております。

「従業員が挑戦できる環境の実現」の取り組みとして、管理職向けに「問題発見・課題解決」をテーマとしたマネジメント強化の教育プログラムを実施するとともに、新しい人材が早期に役割を担うことのできる制度の改定を行っております。

「業務基盤の活用による生産性の向上」については、店舗オペレーションの改善指導の対象店舗を順次拡大し、そのベストプラクティスを各店で共有・展開することで更なる生産性向上につなげております。また、プロセスセンターにおいては製造工程のあらゆるムダを見直し、労務費と原材料ロスを低減させることで、製品原価率の改善を行いました。一方、物流費については、新店オープンや物流価格高騰など増加傾向にありますが、積載効率を見直し、運行数を削減することで、物流コストを低減させております。

「事業を通じた地域社会の課題解決」については、「つなぐアルビス」をコミュニケーションメッセージに掲げ、お客様、行政、生産者、従業員との連携を図り、地域社会の課題解決を進め、持続可能な社会の実現とともに企業価値向上に努めております。2022年4月より金沢市において「店舗等と直結したフードバンクモデル事業」に参画し、ご家庭で使用予定のなくなった食品や雑貨等をNPO法人に継続的に寄贈しております。2022年7月からは富山県と連携し「熱中症予防キャンペーン」を実施、全店に熱中症予防特設コーナーを設置するとともに、移動販売事業を通じて各ご家庭にリーフレットを配布しております。

また、食品スーパーの事業特性から食品廃棄物の削減への取り組みを継続するほか、プラスチック資源循環促進法の対応として店頭でお客様にお渡しするスプーン・フォーク等をバイオマスプラスチックに変更しました。さらにお客様のご協力を得て、全国的に逼迫する電力の対応とCO2削減も視野に、店内照明照度・空調温度の見直し、冷蔵・冷凍ケース温度の見直しなど全社一丸となった節電に注力しております。

新店につきましては、2022年4月に富山県小矢部市に「いするぎ駅店」を出店いたしました。地域の特性を取り入れた品揃えのほか、簡便即食の冷凍ケーキ・スイーツ、ミールキット等、冷凍食品を拡充し、今までない特色のある商品を数多く取り揃え、好評を頂いております。2022年7月には、富山県黒部市に「黒部店」をオープンし、富山県東部エリアの商圏を拡大しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間は、前期新店3店舗と当期新店1店舗による売上増加により、営業収益23,280百万円（前年同期比3.6%増）となりました。利益面につきましては、高利益商品であるPB商品などの販売拡大とプロセスセンターの原価改善により売上総利益率が改善（前年同期比0.8ポイント増）したものの、人件費の上昇、電気料・各種資材の価格高騰により、営業利益616百万円（前年同期比4.2%減）、経常利益757百万円（前年同期比4.0%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、512百万円（前年同期比6.1%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ673百万円減少し、47,789百万円となりました。

この主な原因は現金及び預金の減少額595百万円、売掛金の減少額202百万円、商品の増加額194百万円、有形固定資産の増加額80百万円、投資その他の資産の減少額124百万円等によるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ921百万円減少し、18,091百万円となりました。

この主な原因は買掛金の減少額116百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少額156百万円、未払法人税等の減少額219百万円、賞与引当金の減少額375百万円、流動負債その他の増加額410百万円、長期借入金の減少額466百万円等によるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ247百万円増加し、29,698百万円となりました。

この主な原因は親会社株主に帰属する四半期純利益512百万円、配当金306百万円、その他有価証券評価差額金の増加額42百万円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2022年4月28日に「2022年3月期決算短信」で公表しました内容に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,928,689	6,333,395
売掛金	2,366,260	2,164,156
商品	2,078,860	2,273,692
原材料及び貯蔵品	147,377	188,473
その他	1,458,265	1,440,865
貸倒引当金	△68,590	△70,900
流動資産合計	12,910,862	12,329,684
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,807,128	15,785,837
土地	11,357,995	11,357,995
その他(純額)	2,727,386	2,829,511
有形固定資産合計	29,892,511	29,973,345
無形固定資産		
のれん	102,991	90,527
その他	820,420	784,336
無形固定資産合計	923,412	874,864
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,558,805	3,583,367
その他	1,509,708	1,358,067
貸倒引当金	△332,224	△329,683
投資その他の資産合計	4,736,288	4,611,752
固定資産合計	35,552,212	35,459,961
資産合計	48,463,075	47,789,646
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,249,786	5,133,000
1年内返済予定の長期借入金	2,195,073	2,038,819
未払法人税等	318,370	99,041
賞与引当金	661,881	285,948
その他	3,859,885	4,270,393
流動負債合計	12,284,995	11,827,201
固定負債		
長期借入金	4,206,151	3,739,951
受入敷金保証金	611,279	606,122
資産除去債務	827,761	853,481
その他	1,082,477	1,064,597
固定負債合計	6,727,669	6,264,152
負債合計	19,012,665	18,091,354

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,908,337	4,908,337
資本剰余金	5,633,238	5,633,238
利益剰余金	20,149,484	20,355,353
自己株式	△1,232,934	△1,232,934
株主資本合計	29,458,126	29,663,995
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,716	34,296
その他の包括利益累計額合計	△7,716	34,296
純資産合計	29,450,409	29,698,292
負債純資産合計	48,463,075	47,789,646

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	22,188,305	23,003,288
売上原価	15,927,075	16,317,697
売上総利益	6,261,229	6,685,590
不動産賃貸収入	272,765	277,569
営業総利益	6,533,995	6,963,160
販売費及び一般管理費	5,889,824	6,346,280
営業利益	644,171	616,880
営業外収益		
受取利息	3,180	3,230
受取配当金	11,786	11,733
受取手数料	10,397	9,184
受取販売奨励金	51,688	48,981
その他	92,452	89,000
営業外収益合計	169,505	162,129
営業外費用		
支払利息	6,108	6,802
出向者給与	12,211	14,791
その他	6,367	0
営業外費用合計	24,687	21,593
経常利益	788,989	757,416
税金等調整前四半期純利益	788,989	757,416
法人税、住民税及び事業税	66,834	55,097
法人税等調整額	239,737	190,257
法人税等合計	306,572	245,354
四半期純利益	482,416	512,061
親会社株主に帰属する四半期純利益	482,416	512,061

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	482,416	512,061
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△105,331	42,013
その他の包括利益合計	△105,331	42,013
四半期包括利益	377,085	554,075
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	377,085	554,075
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。